

『一生懸命』幻の新座市議会報告第172弾!



たかむらともや

2019年4月30日発行

③ 駅立ち

統一地方選が終わりました。僕は川口市と清瀬市の駅立ち仲間の応援に行きました。僕にとっての駅立ち仲間は「選挙前だけ駅に立つ人達」ではありません。普段から、駅に立っている人のことです。

清瀬で立候補した宮原りえは1991票獲得し、見事に当選しましたが、川口で立候補した藤田みつぐは2019票獲得しながら落選しました。何年も駅に立ち続け、川口市民緒為に市政レポートを104号も発行した候補者でしたので、残念でなりません。僕は15年かかって172号書いてますが、普通の市民が僕を上回るペースで書いたのですから驚きでした。それでも落選するのですから、選挙は恐ろしいものです。

それでも僕は駅立ちを続けます。来年の選挙の為に立つのではありません。今までの選挙で応援してくれた方達に報告する為に立つのです。そして、朝、駅で出会う方達と会えるのが楽しくて立つのです。

五中、六中、二中、そして”たかやん塾”の教え子達に会えるのも大きな楽しみですが、小中高生の子達が笑顔でこの「一生懸命」を手にしてくれると、本当に嬉しくなります。そして、少しでも「政治」に興味を持ち、自分の未来と「政治」が繋がっていることに気がついてくれたら幸せです。

③ 応援団

僕は今回の選挙でポスター張りと運転手とカラス(ウグイス)をやりました。選挙は候補者一人で戦うものではありません。応援団と応援団の戦いなのです。宮原りえの応援団は実に素敵な人達でした。



川口にポスター張りに行ってくれた、「たかやんの応援団」のメンバーです。よく見ると、全員五中の卒業生ですね。みんな、ありがとうね!!

たかやんのプロフィール



1954年、港区青山生まれ。

本名 たかむらともや

新宿区立西戸山小中学校卒。

新宿区百人町では有名な超悪ガキで成績も悪くPTAのおばちゃんから嫌われていたが、弱い者苛めだけはしなかった。

小学校1年生から高校3年まで「先生」に恵まれた。写真は石神井高テニス部顧問の古川溥先生。

大学3年の冬、突然「教師」を目指し、「教職」以外の勉強はせず、卒論も出さずに北大を卒業。昭和52年4月、新設校の新座五中に赴任する。

五中・六中・二中で21年間担任を続け、年間240号以上の学級通信「一生懸命」を書き続ける。その続編がこの幻の議会報告『一生懸命』である。

現在木村俊彦と”市民と語る会”を結成。「教育問題」を中心に「PTA問題」「道路問題」「ワクチン問題」「町内会の補助金問題」「学童保育室問題」などに取り組んでいる。現在石神3丁目の”たかやん塾”で中高生達と”個別対応””集団対応”の塾をやりながら、月に一度の黒目川の川掃除と7か所での駅立ちに燃えている。過去の議会報告『一生懸命』は全てホームページで読むことができます。

たかやんの連絡先 自宅 042-456-8869 携帯 090-6497-5737
mail:takayanchan@jcom.home.ne.jp 〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

③ 教師を目指す人へのメッセージ

新座の後輩たちへ7(A10神経群のお話)

僕は授業中によく話をしました。理科の教師ですから、宇宙の話とか人類の話とかもしましたが、子ども達が一番食いついてきたのは、自分自身の体験談でした。練習船に乗って、一晩に13回吐いた話とか、小さい頃、ウンコを漏らしてしまった話。いたずらの数々。そして、教え子達とのいろいろな事件、感動的な話。酷い時は、それだけで授業が終わってしまうこともありました。50分とはいませんが、30分は子ども達の前で語れる、そんなネタをいくつか持っている、授業に幅がでると思います。当時の五中は理科が嫌いな子が多く「理科はつまらない」「小学校で理科は大嫌いだった」という子があちこちにいました。そこで、「理科を好きにしてみる！」と黒目川に連れていったり、教科書にない実験をしたり、ギターを弾いてから授業をしたり、理科を好きにする為には何でもやりました。最近の脳の研究で人間の脳にはA10神経群という場所があり、目や耳から入った情報をまず「好き」「嫌い」に分けるということが分かっています。

そして「好きな情報」は記憶に落とし込み易く、「嫌いな情報」は記憶に落とし込み難いということも分かってきました。「嫌いな先生」や「嫌いな教科」の成績は上がらず、「好きな先生」や「好きな教科」の成績は自然に上がるのは、人間の脳のそういう仕組みがあるからなのです。全ての子ども達が目を輝かせるような授業はなかなか難しいかも知れませんが、それでも、若いみなさんには毎日、そのチャンスがあるのです。あるクラスで成功したら、それをどんどん広げていくのもいいでしょう。勿論、失敗もあるでしょう。あるクラスで失敗したら、次のクラスで修正すればいいのです。子ども達が“無限の可能性を秘めた生徒”なら、あなた達もまた“無限の可能性を秘めた教師”なのです。失敗を怖がらず、子ども達の笑顔をイメージして・・・今日も教室のドアを開けて欲しいと思います。

*この文章は数年前にFACEBOOKに書いたものです。A10神経群は知らなくても、当時の僕は脳の仕組みには気がついていたのだと思います。

その結果、五中の理科は県の平均点を遥かに超え県のトップレベルに。それが暫く続いたのです。

③ 僕の英語の先生



最近の僕はNHKのラジオ講座に燃えています。左がボロボロの4月号、右が新品の5月号です。

4月号は全て暗誦しました。僕が英語が好きなのは、12歳の時に西戸山中学で出会った中田先生と鈴木先生の授業のお陰です。

最初の授業で僕のA10神経群は「英語」が好きと認識し、それが50年以上経った今も続いているのですから、先生達の力は凄いです。

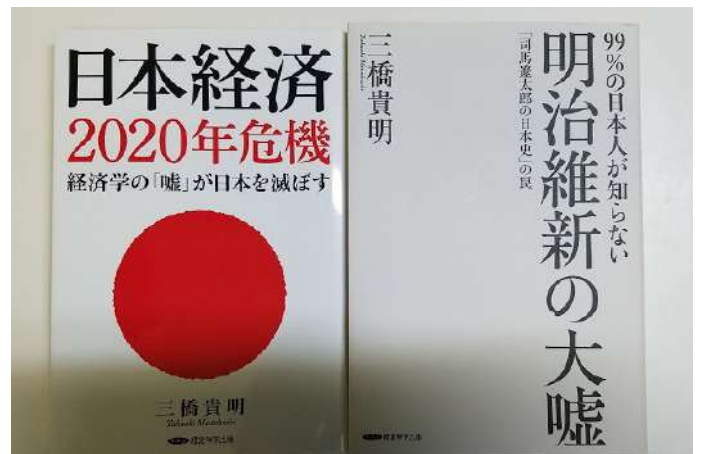
そして五中・六中で出会った二人の後輩の英語の先生達(吉沢真由美と岸辺千鶴子)と出会い英語が更に好きになりました。

そのお陰で多くのAETの友達もできました。

ジェフ、スティーブ、アンジェロ、トム、キム・・・

中学時代「課題を出せ」「勉強しなさい」と強制されていたら、とっくにやめていたでしょう。

僕の英語好きは全て4人の先生達のお陰です。



最近では歴史と経済の本も手当たり次第に読んでいます。小さい頃から司馬遼太郎が好きだったのですが、三橋貴明はそのイメージを壊します。

それと同時に、「経済学の嘘」を次々と暴いていく本が左側の本です。「国の借金問題のカラクリ」や「消費税増税の嘘」などが学べます。

読み終わりましたら、お知り合いの方にさしあげてください m(_ _)m